

キャラクター名 フローラ・ブチエラティ	プレイヤー名
------------------------	--------

シンドローム	オルクス		ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	UGN	エージェント
	オルクス			年齢	20歳	性別	女
オプション			年齢	20歳	性別	女	
覚醒	犠牲	衝動	嫌悪	初期侵食率	36	%	
出自	孤独な魂	経験	旅	邂逅	師匠		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	4	0	0			4	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1	1	調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
思い出の一品					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
起源種/"蛮王の紅"	P 有為	N 脅威			
"レネゲイドビーイング"	P 執着	N 憎悪			
"家族"	P 慈愛	N 悔悟			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	8	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
幸運の守護	1	1	リアクション	至近	自身	対決	-	
効果:	〈RC〉でドッジを行える。							
アニマルテイマー	5	3	ジャンプ/リアクション	-	-	-	-	
効果:	組み合わせた判定のダイス+Lv+1個。							
リフレックス: オルクス	2	2	リアクション	至近	自身	-	-	
効果:	組み合わせた判定のC値-Lv(下限値7)。							
支配の領域	5	6	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	判定の出目ひとつを1にする。判定につき1度のみ。1シナリオLv回。							
絶対支配	5	4	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果:	《支配の領域》の対象をLv+1個に変更する。							
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果:	衝動判定のダイス+Lv個。基礎侵蝕率+5。							
オリジン: レジェンド	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果:	シーンの間、【精神】判定の達成値+Lv×2。							
運命の切り替え	3	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	ドッジを失敗した対象の代わりにドッジを行い、成功すればドッジ成功扱いに。1シナリオLv回。							
妖精の手	5	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	判定の出目ひとつを10にする。判定につき1度のみ。1シナリオLv回。							
仕組まれた幸運	★							
効果:	限定的な幸運を引き起こす							
テレキネシス	★							
効果:	装備・所持されている物品以外のものを動かすことができる							
透明存在	★							
効果:	オーヴァードや機械以外から認識されないようにできる							
効果:								

一人称は『私(わたし)』。二人称は『君(きみ)』『おまえ』。目上の者には『あなた』も使う。
好きなものは明太子のスパゲティ(ただし、食べると口の周りが汚れてしまっていることに気付かないことがある)。嫌いなものは豆類とリンゴ。

イタリアの片田舎に生まれ、日本好きの両親に連れられて5歳の頃に日本に移住してきた。
漁業に携わる父と、5歳年上の兄、寝る前に本を読んでもくれる母に囲まれ、幸せな幼少期を過ごした…。
父と母が離婚し、その際に父に連れ添うことを選び、兄と母と離れ離れになってしまう。
これは父が一人では生きていけないことを幼いながら察したからであり、それを悟った母は彼女の"やさしさ"に涙した。
その後は父と二人、貧しいながらも平穏な生活を送っていた。
学生時代は海外の人間と言うことで偏見に悩まされたが、持ち前の"やさしさ"に惹かれて友人が誰もいないことはなかった。
また、イタリアンレストランでバイトをし、まかないの明太子のスパゲティが好物に。
16歳になる頃には学校での付き合いからボーイフレンドもでき、母、兄と再会することもできた。
しかし、とあるレネゲイドビーイングによって住んでいた町そのものが壊滅的な被害を受け、その際にボーイフレンドは死亡。
その際に覚醒し、奮闘するが…、母と兄は植物状態に、父はそのレネゲイドビーイングの"戯れ"で後遺症を残したまま生存したが、彼女の20歳の誕生日を目前に死亡した。
覚醒して以降、レネゲイドビーイングという存在に強い憎しみを抱きながら、人々を守るために…そしてなによりも家族を救うために、UGNに所属するようになる。
しかし、人々を守るための組織であるはずのUGNが、悲劇を起こし得るレネゲイドビーイングという存在をイリガルやエージェントの形で利用していることを知り、それでも一縷の希望のために組織に従い続ける日々。
そんなある日、とある任務にて奇妙なレネゲイドウィルスに寄生されてしまう。それはレネゲイドビーイングであり、彼女の体にまるで"居着く"ように融合してしまふ。
それを切っ掛けとしてオーヴァードとしての力は増したが、同時に自らも半ば以上レネゲイドビーイングとなってしまったことに彼女は苦悶し…
そして今も、彼女は歯噛みしながら死んだように生きている。